

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

山手通り－3



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」と歩いてきました。

今回は東京城南地域の環状方向の道路「山手通り」を歩いています。写真上右は山手通りの道路名標識（都道317号線）です。

山手通りは品川区の海岸通りの新東海橋交差点を起点に目黒区、渋谷区、中野区、新宿区、豊島区を経て板橋区の中山道仲宿に至る延長約19kmの道です。交差点も多いので4回に分けて歩きます。山手通りは多くの駅近くを通過し、多くの鉄道路線の下や上を通過します。鉄道路線がいくつあるか楽しみです。

前回は大崎警察署先から東急東横線中目黒駅まで歩きました。

今回は東急東横線中目黒駅から代々木八幡宮前まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[中目黒駅先]

目黒川は東急東横線の中目黒駅の右側を流れています。池尻大橋方面へ曲がり、山手通りの目黒橋で再会します。写真下左は山手通りの目黒橋から撮影した目黒川です。山手通りは写真右の菅刈陸橋から玉川通り方面へ向かいます。目黒川の桜並木は有名です。桜に季節には花見客で込み合いますが、ぜひご覧ください。



次の分岐（写真下左）で山手通りの道路標識は二方向（写真下右）あります。



今回は間違えないように、しばし考えて右方向へ行き、近道で正解でした。写真下の前方は玉川通り（国道 246 号線）、上は高速道路渋谷線です。地下の東急田園都市線⑪の上を歩きます。左に行くと東急田園都市線 池尻大橋駅です。



〔大橋交差点〕

目黒区青葉台三丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

大橋交差点（写真下右）で玉川通り（国道 246 号線）と交差します。左へ行くと三軒茶屋方面、右へ行くと渋谷方面です。



[松見坂交差点] 目黒区大橋二丁目 最寄駅 京王井の頭線 神泉駅

松見坂交差点（写真下右）で淡島通り（都道 423 号線）と交差します。左へ行くと若林方面、右へ行くと渋谷方面です。



[渋谷陸橋・松濤二丁目交差点] 渋谷区松濤二丁目

最寄駅 京王井の頭線 神泉駅

松見坂交差点を過ぎると山手通りは渋谷区に入り、松濤二丁目交差点（写真下左）で渋谷区猿楽町から来た旧山手通りと合流します。旧山手通りは東急東横線代官山駅付近が起点で渋谷陸橋が終点です。写真下左の右側が渋谷陸橋です。地下は京王井の頭線⑫でその上を歩きます。



左へ行くと目黒区にある東京大学駒場キャンパスです。右側は渋谷区松濤一丁目でYamazaki Gakuen Universityと表示の建物(写真上右)がありました。家に戻り、地図で調べたらヤマザキ動物看護専門職短期大学とありました。八王子にはヤマザキ動物看護大学があるとのこと。

〔東大裏交差点〕 渋谷区神山町 最寄駅 小田急線東北沢駅

東京大学駒場キャンパス裏に位置するので東大裏交差点(写真下右)です。左へ行くと東北沢駅方面で、山手通りは直進します。高速道路 中央環状線は地下の山手トンネルで走っています



〔富ヶ谷交差点〕 渋谷区雪谷一丁目

最寄駅 小田急線 代々木八幡駅

富ヶ谷交差点(写真下右)で井の頭通り(都道413号線)と交差します。

左へ行くと代々木上原駅、大原方面で右へ行くと代々木公園、原宿駅方面です。



高架橋なので下を見ると小田急線⑫が走っていました。右側下は小田急線代々木八幡駅（写真下左）です。山手通り右側の先には代々木八幡宮（写真下右）があります。代々木八幡宮は1212年（建暦2年）鎌倉幕府 二代将軍 源頼家（源頼朝長男）の近習により創建されたとのことです。頼家が暗殺され主君の冥福を祈るために鎌倉 鶴岡八幡宮より勧請されました。



社殿（写真下左）入口に「代々木八幡遺跡」の説明板がありました。ここは標高約32mの台地であって、その境内から石器時代の遺物が発見されています。そこで1950年（昭和25年）渋谷区が発掘調査したところ多数の遺物と共に、関東ロームを浅く掘りくぼめた住居跡を発見しました。



加曾利 E 式土器（縄文時代中期の縄文土器）も出土され人が住んでいたことがわかります。渋谷区は古代の住居を復元（写真上右）して、その保存につとめています。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022 年 7 月 30 日武隈の松 岩沼（現在の宮城県岩沼市）（江戸深川から 532 km）に到着しました。

八柳さんのコースシートには、「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

武隈の松 岩沼に宿す。武隈（たけくま）の松の素晴らしさには、目の覚めるような思いがする……。それにつけて何より先にこの松のことをよんだ能因法師のことが思い出される。

「桜より 松は二木（ふたき）を 三月（みつき）越し」

（注釈：江戸発足以来三月に及んで、君がせっかくあつらえてくれた遅桜の候は過ぎてしまったが、しかし、桜よりも何よりも、武隈の松こそは、古歌に詠まれた二木の見事な姿を、三月越しに、確かにこの眼で見ることができたことだ）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印

刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝